



投票率の向上、中央通り線整備とまちづくり、路線バスについて

渋谷 理津子 議員

投票率の向上について

質問 市民が政治参加の機会を無駄にしないために、

どのような対策を行うのか。

答弁 若年層に向けて高等学校での選挙出前授業を再開します。また、事業者による選挙割引の継続、拡充を支援します。加えて、重要性の高まりから期日前投票所の増設を検討します。

中央通り線の整備とまちづくりについて

質問 中央通り線のにぎわいをどのように創出していくのか。

答弁 商店街と沿道の活性化が重要であり、行政・民間・市民が共有した将来像の策定を早急に検討します。



本市における地域学校協働本部の活動と今後の農業振興及び大型圃場整備について

柴田 信議員

質問 本市における地域学校協働本部の活動の取組について問う。

答弁 地域学校協働活動とは、地域の各種団体や幅広い地域住民等の参画を得て地域全体で子どもたちの学びや成長を支えるとともに、学校を核とした地域づくりを目指し、地域と学校がパ

ートナーとして連携、協働して行う様々な活動を指しています。また、地域の実情に応じた活動の例としては、学校支援活動、放課後子ども教室、防災学習などがあげられます。

質問 今後の地域学校協働活動の推進について問う。
答弁 地域学校協働活動の

質問 中央通り線は「日光脇往還」であり、歴史の小径と交差しているが、どのように整備していくのか。

答弁 歴史の小径は、駅から大手町の旧鷹匠町まで、景観に配慮した美しい街並みと、竜の井など歴史的雰囲気のある約1500mの散策路です。今後は、二業見番が所在する旧鍛冶町や旧肴町通りなどの未整備区間の解消を検討します。

質問 歴史の小径沿いには江戸時代に建築された希少な2棟の蔵があるが、城下の歴史を伝えるまちづくりの拠点として、どのように保存、整備、活用するのか。

答弁 「館林市まちなかにぎわい再生方針」に文化施設を活用した観光を掲げており、蔵を活用したまちなかの活性化を早急に調査研究します。

要望 本市のまちづくりは城下町を大切なものとして生かし、邑楽郡の中心として求心力のあるまちをつくるものとする。歴史的な

推進に向けて学校教育課、生涯学習課、公民館の職員が共通理解を図るための研修を重ねています。また、地域と学校の連携、協働の核となる人材を育成するためには、教育委員会が主体となり、養成講座や研修会等の開催について推進していく必要があると考えています。さらには、地域住民と学校との協働体制の整備や学校関係者、地域住民、保護者等への積極的な普及啓発にも努めていく必要が

あり、大島公民館、渡瀬公民館の事例や全国の各種事例を参考にしながら、コミユニティスクールと地域学校協働活動の一体的な推進が図れるよう努めていきたいと考えています。

質問 本市の大型圃場整備の取組について問う。

答弁 野辺地区については、最短で令和10年度の事業完了、木戸地区については、最短で同11年度の事業完了を予定しています。大島地区については、圃場整備と

産業団地造成を一体的に推進していることから、関係課と連携し事業を進めており、最短で令和12年度の事業完了を予定しています。

質問 本市の今後の農業振興について問う。

答弁 圃場整備による農地の集積・集約化を進め、効率的な農業経営を目指すことが重要と考えており、その上で「もうかる農業」、「楽しい農業」、「スマート農業」の3つを柱として推進していきます。

街並みの保存、活用に至急着手するよう要望する。
路線バスについて
質問 新設される茂林寺巡回線はどのような路線か。
答弁 買い物や通院先を路線に反映した館林駅西口から、堀工区と美園区を経由する生活路線です。
質問 タクシー券の利用制限撤廃による利便性向上についてどう考えるか。
答弁 タクシー助成制度検討委員会において、用途制限撤廃の検討を行います。